



第17回

住まい備忘録

日本建築家協会 沖縄支部 会員

上村 彰 (設計チームアルファ)

住まいの豊かさ

昨年末、1軒の住宅が完成した。
私たちが家族の住宅であ



北側外観。傾斜地に立つ

る。

敷地は間口35m、奥行
き5m、最大高低差5・
5mの不整形な傾斜地で、
本当にここに家が建てら
れるの？と周りの住人も
驚くような敷地ではある
が、南側斜面で見晴しが
よく、日当たり、風通し
等環境は申し分ない。元
からそこに自生していた
のである雑木、桜の木、
巨大化した観葉植物等が
雑然と茂っているのだが、
その敷地と道路の境界線
沿いには、誰が手入れを
しているのだろうか、タ
イワンレンギョウが整然
と並んでいる。周辺のだ
の家も庭の手入れが行き
届いていて静かで穏やか
な空気が漂っている。

ここだ、と思った。5
mの奥行きの中で駐車ス
ペースと2間程度の幅
の居住スペースが確保で

きればここに家を建てよ
う。この風景になじむよ
うなボリュームと外観の
建物で、高低差と長い間
口を生かした住宅がつく
れるのではないか、と思っ
た。

実際工事に

入るとかなりの
の難工事に施
工の方々には
だいぶ苦労を
かけることに
はなったが、
1階部分を
半地下とする
ことで最小限
のよう壁工事
にとどめる事
ができ、前面
道路からのポ
リウムを低
く押さえるこ
とができた。

また、床の素
材に変化をつ
けて足裏の感
触の違いを楽
しんだり、窓
の位置によって見える景
色や光と風の入り具合の
違いに気付いたり、上下
階をつなぐ小さな吹抜け

小さな仕掛けで豊かな空間演出

を通して家族の気配を感
じられたり、浴室から眺
められる小さな坪庭を設
けて露天風呂気分が味わ
えたり等、東西に細長い
空間にいくつかのアクセ
ントをつけた。

このように特別なもの
ではなくちょっとした仕
掛けで日常生活の何気な
い行動や出来事に、ほん
の少し豊かさを感じる事
ができればいいのではな
いか、と思う。

住まいはそこで生活を
営む家族のための器であ
り、どの家族にも当ては
まるというものではない。
またその敷地や周辺環境
についてもそれは言える
ことで、その敷地にあっ
た建物の配置やポリウ
ムというものがある。

様々な家族がいて様々
な敷地条件があり、さら
に予算の制約等限らない
条件の中から、その家族
敷地に対してより良い回
答を導き出し、特別なも
のではなく、ささやかで
も豊かな空間を提供して
いければと考えている。



光が差し込む明るい内観